



坂野水産トレカ

隔照燈

その立場、立場でなく、心ならぬ人になる

発行 平戸市立平戸小学校 文責 校長 永田健治
児童数 347名 教職員数 34名
創立149周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-syo@educet03.plala.or.jp ホームページ：平戸市立平戸小学校」で検索



今年ほうろう年

今年の2月は29日あります

心の中の鬼を追いだそう

うるうる年とは

1年が366日となることを示しています。この追加された1日が2月29日。地球は太陽の周りを365.242日で一周しますが、これが積み重なると数年後には1日以上ずれが生じるため4年に一度1日追加して調整しています。

磨けてたかな？

1月17日（水）、1年生と保護者が授業参観を利用して親子ブラッシング教室を行いました。講師は、学校歯科医師の大森正先生です。まずは、大森先生から、保護者向けに口腔衛生の大切さ等について、詳しく講



話していただきました。その後、染めだしを終えた子供たちと保護者と一緒に磨き残しの歯のブラッシングを行いました。歯科衛生士の方から歯ブラシの持ち方や磨き方、磨く場所など丁寧に教わりました。

親子一緒に和やかな雰囲気なかで、歯の健康の大切さを学びました。

音が出たよ♪

1月25日（木）、4年生を対象に「尺八、箏教室」を行いました。音楽の授業に生涯学習課のまちづくり出前講座「尺八と一緒に演奏しよう」を利用しました。

日本の伝統音楽の普及に尽力されている門屋多佐雄さんを中心に、地域の方も講師として来校していただきました。



た。ビニールパイプ製の尺八で音出しに挑戦したり箏の弾き方を体験したりしました。特



に尺八の音色を奏でるのは子供たちにとっては至難の業でした。音が出た子供は大喜びでした。伝統音楽はCDや映像をみて学習することが多いのですが、



実際に伝統楽器に触れ、指導をいただけることはとても貴重な学習の場になりました。子供

ギョギョ、

1月29日（月）、6年生の学年、レクリエーションとしてお魚教室を行いました。

オープニングは、さばきシローさん等による「なつ香ブリ（5kg級）」の解体ショー。



プロの魚さばきに子供も保護者も感嘆の声と共に目を丸くしていました。みるみるうちに3枚におろされ、輝く刺身に仕上げられました。その後、サバのさばき方も教わり、子供たちはサバを3枚におろした後ムニエルに挑戦しました。慣れない

たちも日本の伝統音楽の音色に感動し、興味を高めたことと思います。

お魚教室

い包丁さばきでしたが、保護者の手伝いもあってふんわりしたサバのムニエルが出来上がりました。

最後は笑顔あふれる試食会で締めました。貴重な体験をとおして海と魚、漁業に親しみをもち、日本の代表的な食の一つである魚をさらに好きになった



のではないかと思います。ご協力いただきました坂野水産、水産課、平戸市魚青連、保護者の皆様に感謝申し上げます。

平戸市学力調査の結果

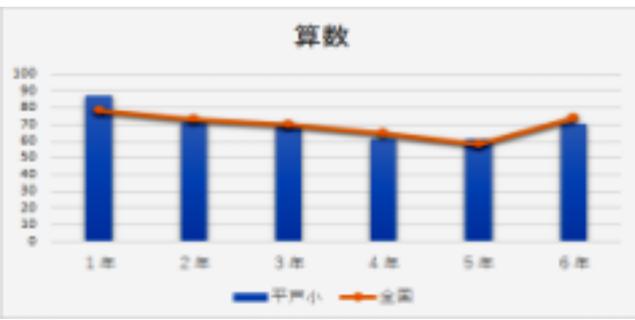
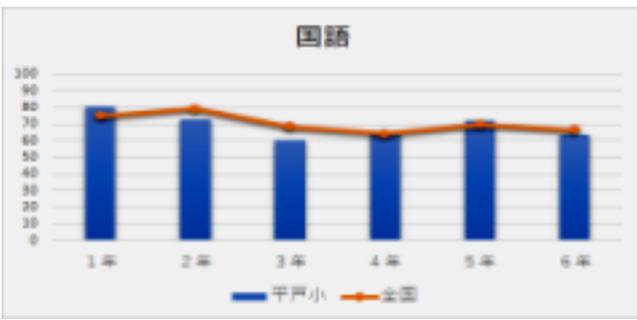
昨年12月中旬に実施した平戸市学力調査の結果が届きましたので概要をお知らせします。

下図の棒グラフが本校の正答率。折れ線グラフが全国の正答率を表しています。

各学年平均で見ると、国語、算数ともに「全国平均とほぼ同程度で概ね良好な状況」でした。

特に、教科では算数に日頃の指導の成果がありました。算数は、校内研修により研究授業と授業改善を積み重ねてきたこともあり、子供たちと共に職員も喜んでおります。また、学年では特に1年生に日頃の成果が表れていました。

現学年と前学年時との比較では、算数が2年生、3年生、5年生、6年生で、国語では4年生、5年生で昨年度より正答率が高くなっています。



	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平戸小	75	75	65	65	70	65
全国	75	75	70	65	70	65

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平戸小	75	70	70	65	60	70
全国	75	70	70	65	60	70

課題については、国語では、全学年とも記

述式の問題で「文章を書くこと」が苦手であることがあげられます。算数では、低学年では「長さ・かさ」などの測定に関する問題、高学年では「合同」や「面積」など図形に関する問題の理解が不十分でした。

分析した課題を改善できるように指導改善と補充指導を行い、次の学年へ進級させます。後日、個人票を配付しますので、お子様の学習状況をご確認いただき、家庭学習等にお役立てください。

午前中5時間日課

Q&A

【Q1】「午前中5時間日課のメリットは何か」
子供の放課後の時間が確保できます。現在の子供たちは、下校後すぐに塾や部活に追われ多忙でゆとりがないといわれます。本校でも高学年は、毎日の下

校時刻は16時過ぎです。新日課では、放課後にゆとりをもって宿題に取り組んだり、友達と遊んだりして自主的な時間を過ごすことができます。また、教職員も児童の下校後に、明日の授業準備や学級事務の時間がこれまで以上に確保できます。

【Q2】「休み時間が5分で、トイレや水分補給、次の学習の準備等は大丈夫か」
トイレや水分補給等には柔軟に対応します。学習の準備等は適切に指示しますが、やむを得ない場合は柔軟に対応します。

【Q3】「早く下校することに よって学童等の対応は大丈夫か」
近隣の学童施設、発達支援センターには対応可能であることを確認しています。

【Q4】「下校時刻が早くなったので、近隣の未来創造館に寄って下校した場合、途中の事故の保険は適用されるのか」
事故はあつてはならないことですが、未来創造館や塾、習い事等へ立ち寄って下校する場合も、日本スポーツセンターに加入されている場合は、保険金請求の対象となります。

【Q5】「低学年が、兄や姉の下校を校内で待つことは可能か」
授業後は、原則下校ですが、今年度同様、申請により認められた児童の待機場所の提供は継続します。

【Q6】「亀岡タイムとは」
算数や国語の基礎基本の定着や発展的な問題に取り組む時間です。

【Q7】「サイバータイムとは」
タブレットの基本操作やキーボード入力、プログラミングの向上等に取り組む時間です。